

2015年12月7日

防災研究所

西村 卓也

課題演習 DC (測地) GNSS 第 2, 3 週

比高を求める手順

- (1) RTKlib を用いた GNSS 基線解析(A 点, B 点)
- (2) 重み付き平均を計算して, A 点, B 点の楕円体高を計算.
- (3) ジオイド高を計算して, 楕円体高から標高を計算. A 点と B 点の標高差 (比高) を求める.

解析に役立つ情報

2015年10月10日	通算日:283	GPS 週・曜日:1865-6
2015年10月9日	通算日:282	GPS 週・曜日:1865-5
2014年10月10日	通算日:283	GPS 週・曜日:1813-5
2005年10月10日	通算日:283	GPS 週・曜日:1344-1

SRH2, A 点, B 点の概略座標

SRH2	135.3685° E	33.6804° N
A 点	135.3684° E	33.6803° N
B 点	135.3697° E	33.6848° N

レポート

以下の2つの課題について, レポートを作成し, 提出して下さい.

- (1) GNSS の基線解析を行い, 白浜実習で測量を行った2か所の比高を求めなさい. その値を水準測量に基づく比高, 重力観測に基づく比高と比較しなさい. 3種類の観測による比高がもし異なっているのであれば, その理由を考察すること. GNSS の比高については, その導出過程も記すこと.
- (2) 自分が選んだ任意の電子基準点での GNSS データを基線解析し, 京都左京2(960643)に対して, 電子基準点の相対位置が1日前, 1年前, 10年間と比較してどのように変わったのかを求めなさい. またその変化の原因を考察して記すこと.

提出方法: nishimura.takuya.4s@kyoto-u.ac.jp までメール添付にて. ファイルの種類は, ワードでもパワーポイントでも PDF でも可.

提出期限: 2016年1月17日 (重力のレポートと同日)